

特集

## 第14回通常総代会



表紙の写真 | 第14回通常総代会



白山農業協同組合  
(@ja.hakusan)



白山農業協同組合  
(@ja.hakusan)



JA 白山  
(@530vzuic)





# 第14回通常総代会

6月26日、鶴来総合文化会館クレインで第14回通常総代会が開催されました。総代527名のうち506名が出席。(うち304名は書面による出席) 新型コロナウイルス感染症対策を徹底しての開催となりました。

開会にあたり竹内文雄代表理事組合長は、令和2年度事業について、世界的なコロナウイルス感染症により様々な分野で制限を受け、国内の農業・農協を取り巻く環境が厳しさを増す中、美川地区で2年3作体系が本格的にスタートし麦作の単収増大と直接支払い交付金により農業者の所得増大・農業生産の拡大につながる事ができたことを報告。また、直売所事業がコロナの影響から家庭内食の増大により売上高が前年比110%10億7千万円となったことや、農業と食糧の理解促進のため、万全のコロナ対策をとり「親子稲刈体験」や「農業祭り」を実施したことなど、JA自己改革の取組について報告されました。

令和3年度事業について「JAが地域農業・組合員生活を支える組織として将来にわたり存続するため「持続可能なJA経営基盤の確立・強化」に向け経営改善3カ年計画の実践による持続的な収益構造の構築や、令和7年4月1日を目標と定めた広域合併に向け「自己改革の実現」「事業機能の強化」について取組む」と挨拶しました。

議事進行にあたり、梨木修一総代(蝶屋地区)を議長に選任し、令和2年度事業報告及び剰余金処分案、令和3年度事業計画の策定等、全4議案の審議が全て可決承認されました。

令和2年度決算の内容は事業総利益11億8285万円、経常利益2億3039万円、当期末処分剰余金は3億1364万円です。



## 令和2年度表彰



### 担い手部門

### 農業奨励賞

有限会社 アグリにしだ  
代表取締役

西田 英次



### 農業功労賞

戸田 光夫



### 永年勤続職員表彰

30年

東野 薫



### 農業奨励賞

生産部門

上田 武夫

## 第14回通常総代会提出議案

### 審議事項

- 第1号議案 第14年度（令和2年度）事業報告及び剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 第15年度（令和3年度）事業計画の件
- 第3号議案 共済規程変更の件
- 第4号議案 理事及び監事の報酬に関する件

### 報告事項

- 1 第14年度（令和2年度）貸借対照表、損益計算書、注記表、付属明細書及びに独立監査法人及び監事の監査報告書について
- 2 「JAバンク基本方針」の変更について
- 3 加賀地区の広域合併について
- 4 （有）アグリサポート白山 令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について

## 支店地区別議案説明会

総代会に先立ち、6月10日より12日まで、管内の全5会場にて支店地区別議案説明会が開催されました。

各支店地区別議案説明会でいただいた主なご意見・ご質問を一部抜粋し、次ページよりご案内します。

# 支店地区別議案説明会における主なご質問・ご意見など

## ◆合併の取り組みについて

**質問1** 加賀地区6JAの合併目標期日が令和7年4月1日とあるが、実現可能と思われるのか。(蝶屋支店)

回答1 令和2年度の決算は6JAとも前年度より悪化し、令和3年度計画は更にマイナスの計画となっており、このような状況から各JAにおいて今後、合併の意識が高まってくると思われます。また、総合事業を展開するJAは各事業運営において専門性の高い人材の確保や業務の効率性等により事業運営能力を高め競争力を強化しなければならないという認識が深まっているところです。

現在、合併に向けて各JAが経営改善を進めており、この進展も実現に繋がると見ています。これらを踏まえ合併の意識をさらに高め目標期日に向けて取り組みます。



**質問2** 6JAの合併によりサービスの低下が考えられるのではないかと。それにより正組合員が減少してしまうのではないかと。(つるぎ支店)

回答2 合併に向けての協議では、当JAの強い意見として合併時の施設は当分の間減らさないことを提言しています。そのためには合併までに経営改善計画を着実に実行し、合併後、当JAの組合員が不利益を受けないよう施設整備の実施及び内部留保を充実させることが必要です。

また、世代交代が進み准組合員が増加していくなかで、時代環境に適合する高いレベルのサービスが求められます。そのためにも、JAは競争力強化と信用・共済・購買等の質的向上を図っていく事が重要だと考えます。

**質問3** 合併の目標時期が令和7年と先延ばしとなったが、一番障害となっている点は何か。(大神支店)

回答3 各農協の決算・経営計画の内容を見ると、それぞれの農協では、まだ慌てる必要がないだろうという空気が感じられます。しかし、経営内容は規模の大きいJAほど金融事業の収益低下の影響が出ており、大きなJAでも危機感が高まり合併に向けての声が強まってくるかと考えています。中規模農協についても同様、金融事業の収益力低下からより合併意識が強まると考えます。

## ◆組合員とのふれあいについて

**質問4** 組合員とのつながりをより強化して欲しい。(手取支店)

回答4 組合員の世代交代がすすむ中、組合員とのコミュニケーション不足を懸念しており、今年度より月に1度、土曜日を「ふれあい訪問日」として組合員宅に訪問し、JAに対するご意見を伺う機会とします。

**質問5** 本日の説明会でも65才あるいは70才以上の人の参加がほとんどである。30・40・50歳代の人がこの場に来て地域農業の将来的な話が出るよう農家の若返りになる人材の育成及び補助事業を希望する。(蝶屋支店)

回答5 農業政策は国がベースであり、現状打破には更なる全国規模での要請活動が必要です。若手就農者が少なく日本農業の将来が危惧されている中、魅力ある産業として就農者が増加する環境を整えられるよう農政活動に引き続き取り組めます。

## ◆事業計画について

**質問6** 令和3年度経営計画で営農総利益が令和2年度実績より3千2百万円増加となっているが、具体的にどう取り組んでいくのか。(大神支店)

回答6 令和2年度の営農総利益は利用事業において計画を下回りました。これは園芸販売高及び米の集荷が計画未達であったこと及び育苗セン

ターの統合に関し当初計画に無い費用1千5百万円程が発生したためであります。それを差引くと実質的には1千7百万円程の増加となり計画については米の集荷増・園芸取扱い拡大により3年度計画を達成したいと考えています。

◆農機センター集約について

質問7 近年、業務の効率化との理由により本店へ施設等が集約され地域サービスに格差が生じているように感じる。組合員は、利益を追求し多くの配当金を望んでいるのではなく、組合員に寄り添うJAであってほしいと不満を感じているのではないか。(手取支店)

質問8 大型農家へのサービス向上を優先し、小規模農家の意向に沿っていないのではないか。地域の活性化・農業振興に繋げるためには、赤字でも存続させることが必要ではないか。(手取支店)

回答7・8 農機センターの集約は平成19年の3JA合併基本方針で承認されているものであり、平成29年度の蝶屋農機センターに続き令和4年度中に手取農機センターの整備機能を本店に集約する計画です。

近年、大豆、麦の生産拡大に伴い1年を通して大型農機の整備点検を行っております。

農機の効率の整備には集約による技術の共有・伝承、協力体制の構築が不可欠であり作業の安全性確保の面からも常時複数整備士の作業体制の確保が必要であります。また、国が進める働き方改革や繁忙期の長時間労働の規制、年5日以上の有給休暇付与も義務化される等、整備士の労務管理面でも集約化が必要です。

令和4年度中の集約後も農繁期には組合員に不便をかけないよう、小農具の点検実施や代替機の設置、技術者を必要により常駐する等、柔軟な体制で対処したいと考えておりますのでご理解をお願いします。

◆育苗事業について

質問9 今年の出芽苗や硬化苗に生育不足(ムラ)が生じて田植え時に苗不足が発生し、JAの育苗の用意も少なかつた。来年度は、そのような事が生じないよう対応して欲しい。(手取支店)

回答9 新しいシステムでの育苗センターはメーカーの十分な指導管理のもとで稼働しましたが、初めてのこともあり一部の苗でご迷惑をおかけした点については反省し、来年度は更に良品の苗供給に努めます。

苗ムラの主要な要因は、ハウス生育中の天候によるところが大きいと推測しておりますが、原因の特定には至っており、今後、全農、メーカー、石川農林とも協議し来年度への課題として対処させて頂きます。

◆店舗機能について

質問10 店舗・ATMの再編について、大神支店は令和4年度検討実施予定、店舗機能縮小とあるが具体的にどのような事か。(大神支店)

回答10 金融事業の収益が減少している中、事業改革・コスト削減が必要となります。

JA経営改善において上部組織から経営改善方針が出されており、金融事業改善策では、貯金高の小さい店舗について店舗機能の縮小、場合によっては廃止となっております。大神支店

は100億円未満の店舗であるため店舗機能の検討が必要と考えています。  
また、経営改善方針で利用度の低いATMは、移転又は廃止によりコスト削減が求められるため、河内地場産業センターや農産物加工センターを検討の対象としました。

◆小規模支店の今後について

質問11 白峰支店の現状が厳しいなか、この支店が未永く存続する為に我々も協力、利用しなければならぬが、JAも支店存続に向けて考えていただきたい。(白峰支店)

回答11 白峰支店はこの地区での重要な生活の拠点であり、なくてはならない支店であることを事業面と利用実態で示さなければなりません。その為には、金融、共済中心の店舗としての利用のみならず生活購買品の幅広い利用と当地区にある加工品の生産品を直売所に出品することが重要であり、地域の活力にも繋がっていきます。白峰支店の活性化に向けて知恵を出し取組んでいきます。



# 第14年度（令和2年度）剰余金処分

令和2年度の剰余金処分数額は198,020,600円です。

うち、出資配当金および事業分量配当金の割合は以下のとおりです。

● **出資配当金** 23,490,091円

出資配当は昨年同様 年1.5%の割合です。

● **事業分量配当金** 24,530,509円

事業分量配当は以下の通りです。

事業分量配当の項目	計算基礎および率	配当金額
①組合員の貯金平均残高 ※当座性及び定期性	平均残高合計10万円以上に対し0.015%の割合	5,732,329円
②組合員の年金または給与振込先指定 ※両方指定の場合1先とする	1先に対し1,000円	2,681,000円
③組合員の貸出金平均残高（当座貸越及び無利息貸出金を除く）	平均残高合計1,000万円以上に対し0.02%の割合	820,729円
④組合員の共済掛金（長期及び自動車）	共済掛金合計1万円以上に対し0.35%の割合	7,003,982円
⑤組合員のJAへの米出荷量	出荷1俵に対し100円の割合	5,699,600円
⑥組合員のJAへの種子出荷量	出荷1kgに対し2.5円の割合	737,926円
⑦組合員の肥料・農薬の供給高 ※供給高10万円未満、土づくり肥料及び代金決済供給品は除く	供給高に対し1.0%の割合	1,854,943円

## 理事会だより

第3回理事会

日時／令和3年6月23日（水）午後1時30分～

### 審議事項

第1号議案 令和2年度期末監事監査指  
摘事項に対する回答について

第2号議案 行政庁に提出する第14年度  
業務報告書の承認について

第3号議案 出資口数の変動について  
審議し、全議案承認されました。

### 報告事項

- 1 令和3年5月末事業実績について
- 2 支店地区別議案説明会における主な  
意見質問に対する回答について
- 3 令和3年度監事監査計画について
- 4 会計監査人の再任について
- 5 JAバンク基本方針に基づくJA財  
務モニタリングの結果について
- 6 その他



## 営農だより

### 水管理・溝切り講習会開催



6月4日、白山石川営農推進協議会による、水の管理と溝切りの講習会が行われました。例年実際の圃場での講習会となりますが、今年はいにくの悪天候となり、本店での開催となりました。



梅雨時期の水管理や中干しの適時実施を呼びかけ、農機メーカー担当者による溝切り機の説明も行われ参加者は熱心に聞き入っていました。



### 春ブロッコリー出荷最盛期を迎える



5月下旬より管内の各圃場でブロッコリーの収穫が始まり、6月に出荷の最盛期を迎えています。

井口野菜集出荷施設には連日多くのブロッコリーが集荷され、ブロッコリー部会により一つ一つ吟味し、選別されたブロッコリーは発泡スチロールの箱に入れられ、鮮度を保つため氷を詰めて出荷されます。今年は県内の市場のほか、関西方面の市場へも出荷されました。

春ブロッコリーの出荷は7月中旬まで続きます。



### 秋ブロッコリー栽培講習会



6月25日、JA白山本店研修室にて秋ブロッコリーの栽培講習会が開催されました。

講習会ではJA白山営農部および県農林事務所の担当者より秋ブロッコリー栽培管理における注意点について、また種苗メーカー担当者より新たに導入される品種のブロッコリーの説明があり、参加した部会員は秋の栽培に向け情報を共有しました。

ブロッコリーはJA白山の園芸重点品目の中でも最大の作付面積（28ヘクタール）となり、年間で4千5百万円の出荷額を計画しています。



## 営農だより



6月上旬、農事組合法人井口グリーンワークスの圃場で、ドローンによる除草剤散布が行われました。

井口グリーンワークスでは、これまで背負型の動力散布機や乗用管理機を用いて除草剤の散布作業を行っていましたが、昨年度よりドローンを導入し、代表の北村さんは「管理機で圃場に入ると稲を倒してしまいう心配があったが、ドローンではその心配がなくなった。また作業時間も短縮できた。」と話されていました。



## ドローンによる除草剤散布



## ナス部会出荷会議



6月28日、JA白山本店研修室でナス部会によるナスの出荷会議が行われました。

会議にはナス部会の会員と市場関係者も出席し、ナス出荷にかかる現在の生育状況の確認や注意点の共有のほか、市場関係者からは「今年から新たな出荷先が増えるため、より一層の出荷量の確保をお願いしたい」との依頼がありました。

ナスの出荷は7月1日頃から始まり、約18トンの出荷を予定しています。



## 白山石川営農推進委員会 通常総会



6月17日、JA白山本店にて「白山石川営農推進委員会通常総会」が開催されました。

同協議会は、「白山」「松任」「ののいち」の3JAと白山市・野々市市および石川県農業共済組合で組織され、管内農業の生産振興と品質向上を図るため、相互の生産技術指導や情報提供を目的として運営されています。

会長を務めるJA白山竹内組合長の挨拶で開会し、事務局より令和2年度の事業報告の後、令和3年度の事業計画として「土づくりによる収量の安定化」「高温登熟対策」「2年3作体系および団地化の推進」「園芸作物の既存産地への支援増加や新規栽培農家の育成・定着化」などの事業方針を掲げ、全議案可決承認され閉会となりました。





## 青壮年部

### 林支部

### あいわこども園でさつまいも定植

6月3日、あいわこども園年少組の園児27名が、こども園駐車場内の畑でさつまいも定植を行いました。

毎年林支部で行っている食農教育の一環で、今年は安納芋・紅はるか・金時の3種類の苗を準備、園児たちは手を泥だらけにしながらも苗に土を被せ、「大きなあれ」と声をかけて作業は終了しました。

定植したさつまいもは10月上旬に収穫を行い、焼き芋などにして皆で食べる予定です。



### 館畑支部

### 鶴来第二幼稚園ひまわり定植

6月7日、鶴来第二幼稚園の4歳児70人が、クレインプール横の圃場でひまわりの定植を行いました。

今年は農事組合法人 北辰農産より約17アールの圃場を借り、合計3000本のひまわりの定植を行う計画で、そのうち150本分の苗が園児たちにより定植されました。

園児たちは裸足になり広い圃場に順序良く整列し、館畑支部長 山下さんや館畑支部盟友の手ほどきを受け、丁寧に定植を行いました。



### 営農部職員がプランターでの

### 野菜栽培を始めました

営農部の職員がプランターを用いてトマト、ナスの栽培を始めました。

これは、試験的にタイマーを用いた水の自動散布装置を設置し、省力化や生育状況、また費用面について調査し、効果が実証されれば生産者にご提案したいとの思いから始めたものです。

収穫した野菜はよらんかいねえ広場に出荷を行います。



# JA ホーム W断熱 × プレウォール

私はJAのおすすめにより  
高性能住宅を建てました。

～性能にこだわった長く快適に過ごせる住まい～

W断熱で暖かさが保たれ、プレウォール工法で耐震性も確保した高性能住宅の紹介です。窓にはアルゴンガス入りトリプルガラスを使用し熱伝導率を抑えることで、さらに断熱性の高い住宅となりました。LDKは白と木を基調に、ブラックのインテリアや優しいミントカラーの壁がアクセントとなった「大人ナチュラル」な雰囲気になっています。



家族団らんの時間はいつもあたたかい  
断熱性能を高めて快適な暮らしを



1. ライトや手摺、キッチン背面壁にはアクセントカラーを使用
2. タモの無垢材とスギ板張りの天井でぬくもりと重厚感を演出
3. アーチ形になった入口が可愛いキッチン横のパントリー
4. 団らんの場にはトリプルガラスを使用し部屋はいつも暖かい
5. 玄関に手洗いコーナーを設けて、感染症対策もバッチリ



\ HP・SNS で情報配信中! /



@ja\_home\_ishikawa



**JAホーム**  
株式会社 JA建設エナジー

新築・リフォームのご相談はJAホームまで  
(株)JA建設エナジー 住宅課  
TEL. 076-240-5441 HP. <https://www.jahome.jp/>

# 土地の売買 資産の有効活用は JA白山に おまかせください！

土地の活用や相続・税金など組合員の皆さまの  
資産の保全・継承の支援をお手伝いします

## ポイント1



©よりぞう

専門家による  
バックアップ体制も  
万全です！

顧問税理士による無料相談会を毎月  
開催しています。皆さま  
のご質問に専門家が親切  
にお答えします。



## ポイント2



宅地建物取引業  
としての経験も  
十分です！

土地の売買、土地の賃貸の仲介はJA  
白山にお任せ下さい。また、土地の  
測量・造成・建物の建築、解体につ  
きましても優良業者をご紹介します。

お問い合わせ先    つるぎ支店 076-272-1515    手取支店 076-255-5001  
                          大神支店 076-272-0620    白峰支店 076-259-2003  
                          蝶屋支店 076-278-2315    本店金融課 076-273-3131





JA白山 オリジナル **夏の選べる定期貯金**

キャンペーン期間 **令和3年7月1日(木)～8月31日(火)** 対象 **個人の方**

**Aプラン**

**金利上乘せプラン**

新規お預入金額 <b>50万円以上</b>	預入期間 <b>1年</b>
--------------------------	-------------------

店頭金利 **×**

**20** 倍 (年)

**注意事項**

- ・利息には20.315%の税金がかかります。
- ・金利上乘せの適用は、当初預入期間のみの適用となります。自動継続後の適用金利は、自動継続時の店頭表示金利となります。方が一、中途解約される場合、当JA所定の中途解約利率を適用いたします。
- ・市場金利および経済情勢の変化により、適用利率を変更させていただく場合がございます。
- ・キャンペーン定期は、スーパー定期に限りです。

**Bプラン**

**お買物応援定期貯金**

新規お預入金額 <b>100万円ごと</b>	預入期間 <b>3年</b>
---------------------------	-------------------

**1,000円分のJA商品券プレゼント** (上限20,000円分)

**安心・安全でおいしい食材がたくさん!**  
よらんかいねえ広場など  
JA直売所やAコープでご利用いただけます

**注意事項**

- ・この定期貯金は原則として満期前に中途解約することはできません。満期前に中途解約するときは、JA商品券またはJA商品券相当額をご返却頂きます。
- ・当キャンペーンは店頭金利にてお取組となります。
- ・商品券については一部お取扱いできない店舗がございます。
- ・キャンペーン定期は、スーパー定期貯金(複利型)に限りです。



詳しくは最寄りの窓口までお問い合わせください。

つるぎ支店 ☎272-1515  
大神支店 ☎272-0620蝶屋支店 ☎278-2315  
手取支店 ☎255-5001白峰支店 ☎259-2003  
本店金融課 ☎273-3131

私たちの (令和3年5月末実績参考)

組合員数	6,963名(団体含)
貯金残高	75,650百万円
貸出金残高	13,771百万円
長期共済保有高	1,919億円
購買品供給高	415百万円
販売品取扱高	46百万円

**無料税務相談会****要予約**

- 開催日時 令和3年7月21日(水) 午前9時～12時(基本30分単位)  
令和3年8月25日(水)
  - 開催場所 JA白山 本店
  - 顧問税理士 税理士 本田 英夫 (株アーマス)
  - お問い合わせ・お申込先 本店総務課 嶋田
- TEL 272-3333 FAX 273-0690  
e-mail soumu@hakusan.is-ja.jp  
お申込み順に受け付けております。